

リーフコートプラス『週刊ビル経営』掲載のお知らせ

2022年10月31日に発売された週刊『ビル経営』1268号の「ビルオーナーの広場」に、先日リニューアルオープンしたリーフコートプラスが掲載されましたのでお知らせいたします。

リーフコートプラスは、マンスリーマンションとして運営していた建物を大規模改修し、コンセプト賃貸マンションとして9月にオープンしました。自然の癒し効果や自然の活力増進効果を空間デザインとして採用し、中庭や共用部には緑を多く取り入れました。ワークスペースやカフェ等、充実した共用部をはじめ、詳細が紹介されていますので是非ご覧ください。

(記事一部抜粋)

「リーフコートプラス」 総戸数80の1棟レジにバイオフィリックデザインを導入した初のプロジェクト



▶ゆったりとした共用のワークスペース(上)とカフェ
真：篠澤雄英写真事務所



ビルディング事業部
岩尾 勇太氏

不動産賃貸管理・コンサルティング事業部 岩尾 勇太氏は、「中長期の検討の結果、このプロジェクトの経緯について担当したビルに想定され、社内で出張客や単身赴任客向けに自社開発し、約33年間の運営してきました」と話す。

社内プロジェクトを充足し、アイディアを出しあった結果メインコンタクトとしたのは「bay infinity社」のバイオフィリックデザインを採用。緑に覆った空間に「1.その座り、青空を眺めながら、自然を感じるような景観が堪能できる空間に仕上げた。さらにコンセプト型

物件名は「リーフコートプラス(旧名称はリーフコート幡ヶ谷)」。京王線「幡ヶ谷」駅から徒歩4分の立地。このプロジェクトの経緯について担当したビルに想定され、社内で出張客や単身赴任客向けに自社開発し、約33年間の運営してきました」と話す。

社内プロジェクトを充足し、アイディアを出しあった結果メインコンタクトとしたのは「bay infinity社」のバイオフィリックデザインを採用。緑に覆った空間に「1.その座り、青空を眺めながら、自然を感じるような景観が堪能できる空間に仕上げた。さらにコンセプト型



結果メインコンタクトとしたのは「bay infinity社」のバイオフィリックデザインを採用。緑に覆った空間に「1.その座り、青空を眺めながら、自然を感じるような景観が堪能できる空間に仕上げた。さらにコンセプト型



▲緑豊かな中庭(写真：篠澤雄英写真事務所)

読者紹介のコーナー

荒井商店

以上

お問い合わせ

株式会社荒井商店 ビルディング事業部
TEL : 03-5466-8700